

# ひまわり



「グラニウム」 作：鈴木健夫さん

- ISO9001(品質)、14001(環境)認証取得 ————— 2
- 介護保険制度の改正 ————— 3
- 各施設のできごと ————— 4
- 福寿園ニュース ————— 10
- 家族会だより ————— 11
- ひまわり茶屋・ひまわりギャラリー ————— 12

68号

平成18年3月10日

# ISO9001 品質 14001 環境 認証を 同時取得しました!



平成16年4月、当法人はISO推進委員会を立ち上げました。この背景としては平成12年度に介護保険制度が導入され、特養は措置から契約の時代に、行政の保護から自己責任による経営の時代が到来したことがあります。また当法人は平成16年3月、福寿園5九年事業計画を策定し、新規事業を各市町の補助事業とし

て実施するに当り、ハード面の整備と並行して管理運営面の充実が重要な課題となりました。そしてその対応策として、サービスの質の向上と合理的な管理の手法を修得するためにISOを導入し、その仕組みを活用することが適切な方法と考えました。

ISOシリーズには9001(品質)と14001(環境)がありますが、当法人にとって9001の品質はサービス、日常業務そのものです。また、14001の環境は全世界地球規模のテーマですが、社会福祉法人として率先してこの課題に取り組み、その役割を果たしたいと考え、品質と環境の同時認証取得を目標といたしました。

16年度当初、8人のメンバーで始まった推進委員会は、勉強会や準備期間を経て、コンサル会社の導入、審査登録機関の選定等により、17年度からはメンバーも20人に増員して本格的な活動を始めました。トップセミナーを皮切りに、月2回の推進委員会(コンサルディング)における品質マニュアル、環境マニュアルの作成、6月には内部監査研修会が2日間、60名の参加のもとに開催されました。

さらに2度に及ぶ内部監査と是正処置の後、審査登録機関による一時審査、マネジメントレビュー、そして12月19日からの3日間及ぶ二次審査にパスし、本年に至り1月12日付で品質と環境の同時認証取得ができました。認証取得という大きな目標が達成できたことに満足せず、一つの通過点ととらえ取得の過程で学んだPDCAのマネジメントシステムを活用して、さらなるサービスと職員の資質向上、管理運営のレベルアップを目指して参ります。

## ご案内

# 介護保険制度が 4月から改正されます。



平成12年4月に介護保険制度が施行されましたが、当時「5年後に見直すこと」との付帯決議が付

けられました。今年4月からの改正は、その付帯決議に基づき5年間の介護保険制度利用者の飛躍的増加を踏まえて、国民年金制度の二の舞（国民的不信感から木納者の増大）とならないように継続可能な制度作りをしようとするものです。その柱は大きく分けて次の3つの視点で考えられます。

## 1 ホテルコスト 及び 食費の徴収



国の財政不足のため、本来はこの4月から改正されるはずですが、前もって昨年の10月から施設入所者のホテルコスト（部屋代）と食費（人件費を含む）の自己負担が決められました。在宅ご利用者と施設入所者の不公平感をなくすという理由からですが、残念ながら実際には、在宅のご利用者が最も使いたいであろうショートス

テイの個人負担が大きくなってアップすることになりました。

## 2 地域包括 支援センター の設置



介護保険制度の施行以来、要介護者は介護支援専門員が、そして虚弱高齢者は在宅介護支援センターが実態把握を行ってきましましたが、残念ながら行政窓口の責任者が曖昧となり、虐待の問題、認知症高齢者の契約の問題等の難しい状況が生まれてきました。そこで三位一体の地方行政改革の一環として、自分たちの住む市町村の福祉はしっかりと行政が責任を負っていくことを目的として、4月より原則として生活圏毎に主任介護支援専門員、保健師、社会福祉士の3人を1チームとした地域包括支援センターが設置されることになりました。全国レベルでは6割〜7割が市町村直轄と聞いていますが、愛知県では従来の在宅介護支援センターの実績を認め、社

会福祉法人等への委託が多いようです。この地域包括支援センターでは、要支援の方への介護予防ケアプランの作成、高齢者虐待問題の対応、地域権利擁護事業等を担い、今後の地域福祉の中心的役割が期待されます。

## 3 軽度者の 新介護予防の 取り組み



同時に市町村の権限で指定ができる地域密着型サービスの仕組みが創設されました。5年前の施行当時と比較して、要支援及び要介護1のいわゆる軽度者の利用率が格段と伸びてい

ます。そのサービス提供の方法が必ずしも介護保険法の本来の目的である自立支援につながっていないとして、地域包括支援センターでしっかりと効果的・効率的なサービス提供の行えるプランを作ることになりました。月の利用限度額が引き下げられるとともに、要支援1（今までの要支援）、要支援2（今までの要介護1の6割程度）と認定されますと、訪問介護と通所介護は1回の半額ではなくて、1ヶ月あたりの定額制となります。左に参考までにその利用負担額を掲載しておきます。制度の詳細につきましてはお住まいの市町村へお問い合わせ下さいませ。ようお願いします。

### 支給限度額（1割負担で使える限度）

- 要支援1 ..... 49,700円分  
(自己負担4,970円)
- 要支援2 ..... 104,000円分  
(自己負担10,400円)

### デイサービスをご利用の場合

- 要支援1 ..... 月額自己負担 2,226円
- 要支援2 ..... 月額自己負担 4,353円

### ホームヘルパーをご利用の場合

- 週1回程度の利用が必要な場合  
..... 月額自己負担 1,234円
- 週2回程度の利用が必要な場合  
..... 月額自己負担 2,468円
- 週2回以上の利用が必要な場合  
..... 月額自己負担 4,010円  
(要支援2の場合のみ)



- 特別養護老人ホーム 福寿園
- 特別養護老人ホーム 第二福寿園
- ケアハウス パシフィック
- 特別養護老人ホーム 渥美福寿園



▲田原市渥美デイサービスご利用者「お～、きれいだの～」

**渥美福寿園**  
田原市のシンボルである「菜の花」。花言葉は「快活」「初々しい」「豊かさ」です。市内のいたる所に広がる菜の花は、春の訪れを知らせ、道行く人々の心を和ませてくれます。ついつい立ち止まってシャッターを押したくなるのでは……。夜になるとライトアップもされ、昼間とは一

# 菜の花を見に!



▲ライトアップ風景 (伊良湖)



▲腕を組んで、ハイ・チーズ!

味違う幻想的な姿に変わります。皆さんも一面黄色のきれいな光景にうっとり。こんな素敵な笑顔を見せてくれました。

豆まきでは、皆さんいつになく機敏な動きで、豆に菓子にと手を伸ばされていました。



## 福 毒 突 鬼

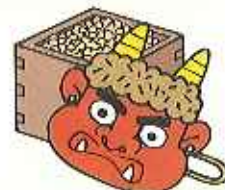
皆さんの前で実際に書いて下さり、本当にお上手で会場全員がビックリ!!

田原授産所の鎌田施設長より、楽しいお話を交えながら、寄席文字をご披露頂きました。



渥美福寿園

# 節分祭



入所者のみなさんで作った梅の木です。色とりどりの梅の花がとってもきれいに咲きました!

## きれいに咲いたな 梅の花



▲とっても真剣!



**田原福寿園**  
その日の夜、園児にももらった飾りを大事そうに枕元に置いて眠る入所者の方の姿がありました。

1月29日、東部保育園の園児たちが交流会に来てくれました。かわいい園児たちの踊りを観て、みなさん目を細めていました。その後、園児たちから折り紙で作った手作りの飾りを手渡してもらい、普段見られないようなとても素敵な笑顔がたくさん見られました。



## 田原福寿園 東部保育園交流会

田原福寿園

# 大根収穫

10月より



福寿園の畑で栽培されてきた大根が収穫時期となり、入所者の方々によって立派に育った大根が収穫されました。新鮮な大根は早速厨房に運び込まれ、お味噌汁の只などに調理されました。



おいしくな〜れ

また、養護では自分達で収穫した大根で漬け物作りが行われました。方法は切った大根を塩のみするだけのシンプルなものですが、新鮮な大根は大根自体がおいしく皆さんから大好評。来年は葉も使った本格的な漬物作りにも挑戦したいです。

田原福寿園

# デイサービスでたこ焼き作り



ふっくらおいしそう！



# 訪問喫茶始めました

ケアハウス パシフィック

2月9日から、茶つば亭の営業時間中に、居室への訪問販売も同時に行うというサービスを始めました。色々なケーキと温かいコーヒーを用意し、職員が部屋に伺うととても喜んでいただきました。中には、一度に3つ4つ買われる方もいたほどです。また、入居者さんからは「最近寒い日が続くから、茶つば亭に行きたくて、なかなか行けない。今日は、放送で訪問販売があると聞いて、楽しみに待ってただよ」という声も多く、用意したケーキも全て売



デイサービスの利用者さんとおやつ作りで現在好評なのがたこ焼き作り。日の前でできあがるアツアツのたこ焼きは、匂い・味・見た目とも最高の出来ばえ。ついでに食べ過ぎてしまいたい。利用者さん自ら参加されたり、できあがりを楽しんで待たれる方も、食べた瞬間「おいしい」と思わず笑顔がはじける。そんな姿に職員も「またやろうね」と、定番になりつつあるおやつ作りです。

り切れ、まさに大好評でした。これからも、皆さんに喜んで頂けるサービスをお届けしていきたいと思えます。

田原福寿園

# ガイド講師

2月6日、地元高

松小学校へガイドヘルプの講師として養護の職員と入所者の井上孝雄さんが招待されました。ガイドヘルプでは市内の小中学校へ出掛け、視覚障害者の方の介助方法や日々の生活を

知る事によって、福祉に関心を持つていただこうとしています。実際にアイマスクを使って手引き誘導を体験された学生からは「見えなくて怖い！」などの声が聞かれ、視覚障害者の気持ちを学んでいただくことができました。

また、全盲の井上さんのピアノ演奏には子供達も大喜び。視覚障害者の方とのよい交流の場となりました。





- 特別協議 老人ホーム 豊田福寿園
- 特別協議 老人ホーム みなみ福寿園
- ケアハウス みなみ

## ひまわり交流会

みなみ福寿園

去る2月19日、みなみ福寿園にて在宅介護者のつどいである「ひまわり交流会」が開催され、総勢19家族24名が参加されました。



交流会も今年で4回目となりました。今回も在宅にて高齢者を介護されている方々の口頃がら抱えている苦労や問題を職員も交えてさくくばらんにお話されました。また、サービスによって利用者の仕方が違うため、

個々の利用方法を聞くことにより参考にして頂ける機会になったと思います。今年も

## 在宅介護者とのふれあい

豊田福寿園

### 介護者へのびんご

「心と体のリフレッシュ」  
日頃介護でお疲れの家族をお招きし、何もかも忘れて一日リフレッシュして頂くことをテーマに、介護者のつどいの会を開催しました。

色あてクイズや指を使った脳の体操、足つぼマッサージでは職員の見本を見ながら一生懸命に取り組んで頂き、笑いもあり盛り上がりました。永田先生の認知症を抱える家族の公演では、心が救われた思

いだと言われる方もありました。昼食後の座談会ではハーブティを用意し、リラックス効果の話をおかわりされる方もありました。会話も弾み、日頃悩んでいる事

好評を頂くことができましたし、私たち職員も、「ご家族の皆さまからの声を聞くことができ、貴重な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。」



おやつ時から夕食前迄の時間帯に、おはぎ、羊かん、シコートケーキ、手作りのミルク餅、じゃが芋団子、ムース、ゼリー、プリン、八種類を食堂の真中に並べ、四方向かいら見られるようにし、御自分でも取れるようにしました。そして食堂にいらした方々に「好きなものを好きなだけ食べてください」と言うと、その声掛けに「いいの?」と同時に「わあ」という声があがりました。中には羊かんを八切も台し上がった方や全種類を召し上がった方もあり、食べている間の方々の笑顔は私達にも幸せを運んでくれるひとときでした。

甘いものバイキング

豊田福寿園

2月25日(山)に、登録ヘルパー20名で定例会を行いました。今回は、制度改正の内容や、地震災害時の緊急対応の手順をテーマに勉強会を行いました。4月より介護保険法が大幅に改正されるため、改定資料をもとに、介護予防訪問介護と介護給付訪問介護の内容や目的の違いを学びました。改正内容をしっかりと理解し、より良いサービスの向上につながるようにしたいと思います。



また、近年東海地区ではいつ地震が発生しても不思議ではないといわれています。私たちヘルパーも活動時に災害に遭遇するかもしれません。地震に対する知識を深め、実際の緊急時に適切な行動がとれるようにしたいと思います。

今回学んだことを生かし、利用者の皆さんがより満足して頂けるサービスが提供できるよう、努めていきたいと思います。

## ヘルパー定例勉強会



職員が家族がボランティアに来て下さり、デイサービスでマシツクを披露して頂きました。ご利用者の中には真近でマシツクを見るのが初めてという方もあり、皆さん真剣に見られ、ホールには、驚きの声が響きました。種明かしの時には笑い声も聞こえ、時間が経つのがあっという間で、「また来て欲しい」との声も上がりました。皆さん、童心に返ったような笑顔をされ、大反響のマシツクショーでした。ありがとうございました。



豊田福寿園



### 竹花さんの作品紹介



♥実はラン(花の部分のみ)紙で作ってあるんです♥

みなみ福寿園

### 職員の写経

## 豊田地区職員の思いを込めて

豊田地区では職員が、(仮称)新豊田福寿園の建設工事が安全かつ順調に行われ、また地域の皆様から親しまれ、愛される施設になりますようにとの願いを込めて、小林良正先生のご協力のもと般若心経の写経を行いました。職員一人ひとりの思いが込められた写経は建設地東北と南西に揃って清め、埋められます。建設工事の様子は福寿園のホームページに掲載の予定ですので是非ご覧下さい。



入居者の皆さんも、「来年もきれいな花がたくさん咲くといいね」と今から楽しみにしています。

ケアハウス みなみ

ケアハウスの事務所周辺にさざんかが植えてありますが、今年は見事な花を咲かせてくれました。去年はつぼみもつかず、寂しいものでしたが、今年は入居者の方が、肥料をやり、剪定をしてくださったおかげで、たくさんのお真つ赤な花が咲きました。

## あった〜い きりたんぼ鍋作り



### 豊田福寿園・デイサービス



「きりたんぼは作ったことがなくて…」と初めは不安な様子も、エプロン、三角巾を着けると何のその。ご飯をすり鉢で潰し、細長い形を作り、串に刺して、「こんな感じでいいの?」「こんなになっちゃった」と、ワイワイ盛り上がりました。炭火で焼き、いい臭いがしてくると、「はやく食べたいわ。」と、待ちきれない声が上がります。鍋を囲んで会話も弾みました。

多くの方に参加して頂きたいという思いから曜日を変えて計4回きりたんぼ鍋を行いました。



特別訪問 老人ホーム 武豊福寿園

ケアハウス 武 豊

ケアハウス きぬうら

武豊福寿園

去る1月9日の寒い日に、韓国の大光初等学校の子供たちが武豊福寿園を訪問し、美しい歌声や楽器の演奏、踊りなどを披露して下さいました。今回の訪問は五度目で毎年とても楽しみに待っていました。デイサービス

のフロアでは、利用者、職員、総勢120名程で、韓国の子供たちを会場一杯の拍手で出迎えました。子供たちはハードスケジュールのなか来て下さったにもかかわらず、疲れも見せず美しい笑顔を見せてくれました。韓国の歌はもちろんのこと、私たち日本人なら誰でも聞いたことのある懐かしい歌が多く、日本語もとても上手に発音し、歌っていたのを聞き、この日の



## 韓国大光初等学校 をお迎えして

ために一生懸命練習をしてくれた姿が目に見え、利用者の方々も口々に「上手だね」「素晴らしいね」と、感激の声をあげられていました。フルートの演奏もドキドキした表情で、一生懸命演奏しており、とても微笑ましく、胸を打たれました。

利用者の方々も、自分の子供の頃や、孫のことを思い出しながら見ておられるのだろうと思われました。子供たちが帰る時には、利用者一人ひとりに握手をしてお別れをしてくれました。お年寄りの中には、大きな声でお礼を言う方、涙を流しながらお別れする方、握手の力を強く握り返す方などそれぞれで、皆さんにとって忘れられない思い出になったと思います。来年も、再来年も来てくださるの利用者の方々も職員も、心待ちにしています。とても楽しい時間を過ごさせてくれた大光初等学校の皆さん、本当にありがとうございます。



利用者の方々も、自分の子供の頃や、孫のことを思い出しながら見ておられるのだろうと思われました。子供たちが帰る時には、利用者一人ひとりに握手をしてお別れをしてくれました。お年寄りの中には、大きな声でお礼を言う方、涙を流しながらお別れする方、握手の力を強く握り返す方などそれぞれで、皆さんにとって忘れられない思い出になったと思います。来年も、再来年も来てくださるの利用者の方々も職員も、心待ちにしています。とても楽しい時間を過ごさせてくれた大光初等学校の皆さん、本当にありがとうございます。

ケアハウス きぬうら

## パレンタインデー



小春日和になった2月14日。ケアハウスきぬうらでは、ケアハウス武豊の入居者をお招きし、「パレンタインの日」を行いました。コーヒータイン、ミルクティーを準備していただき、厨房さんの手作りになじんケーキをお配りしました。にんじんケーキは、野菜が入っているとは思えないほどおいしく、みなさんに大好評でした。そして、ケーキの後は、カラオケです。武豊、きぬうらの入居者の歌声が食堂中に広がり、とても暖かなひとときとなりました。

## 春夏秋冬 来園

2月15日、ボランティアサークル「春夏秋冬」のみなさんがデイサービスセンターきぬうらに火園されました。

デイサービスセンター きぬうら



身近なものを材料にして作られたカラフルな衣装で踊ってくれたり、女服装で踊ってくれたり、ユニークな出し物を見せてくれました。また、「むすんでひらいて」では、利用者も昔を思い出して、大きな声で歌われていました。最後は、「九州炭鉱節」を利用者も職員も一緒に踊り、とても楽しい時間を過ごすことができました。





## 武豊福寿園 職場体験



1月26日、武豊中学校の1年生6名が職場体験として武豊福寿園を訪れました。その中の一人、茂山賢太さんの体験記です。賢太くんのお母さんは特養で働く寮母さんです。

### 体験記

僕は、お母さんが働いているところを初めて見ました。その日はすしパーティーがあるということで、おばあちゃんたちと一緒に稲荷すしを作ったり、巻きすしを作ったりしました。その後、職場の人のアドバイスをもらい、ボール投げや、折り紙などで遊びました。

福寿園は、愛知県内に10施設あるなんてすごいと思いました。僕はお母さんの仕事を見学して、おばあちゃんのおばあさんの世話をするのは、とても難しいことだと知りました。この施設で暮らしている老人の方が、約80人もいて、とても大変な仕事だと思いました。



## 生バンド演奏会



## 和太鼓“ならわ学園”来園



ケアハウス きめうら

2月23日ケアハウスきめうらに半田市板山小学校分校ならわ学園のみなさんが、和太鼓の演奏に来園されました。



ならわ学園は、家庭、学校等で人付き合いがうまくいかない児童（情緒障害児）の施設です。和太鼓は授業の一環として行われており、地域の様々な行事や、施設などへ出かけ、演奏されています。小学生の元気良い和太鼓演奏を聴いたり、子供たちとふれあったりと、入居者のみなさんは大喜びでした。ぜひ、またお越しください！

笹野 英夫

### ボランティア活動の一環を担って

ケアハウス在職中は、皆様方にご愛お世話になりました。退職後に、生バンド「葉会」とめぐり合うことができ、自ら楽しみながら、西市をはじめ周辺市町の高齢者福祉施設など十数か所を訪問し、利用者の方々と懐メロを中心に歌っています。ケアハウス武豊へは、2年前から生バンドの皆さんと訪問できるようになり、とても嬉しく思っています。

この「葉会」で、楽器演奏、歌、手品を披露する会員八名のうちの一人として、時には涙を流しながら、皆様に、「また来てね」と言って頂けることに生きがいを感じている今日この頃です。

## クラブ紹介

ケアハウス 武豊

ケアハウス武豊に、この2月から新しいボランティアさんが仲間入りしてくださいました。クラブ名は、題して、「懐かしい日本の歌の会」。

入居者の娘さんですが、音大をご卒業後、自ら子供さん方に音楽を教える傍ら、家事、育児を立派に両立されており、それだけでもお忙しいのですが、高齢者の方々の励みになればと、昔懐かしい歌の会を定期的に開いてくださる事となりました。

1回目の当日は、入居者の皆様とも初対面で、何かとご苦労されたのではないかと思います。娘さんより緊張されていたのが入居者のお父様でした。美しい音楽を聴きながら、父親と娘の温かな絆を垣間見たような気がしました。

## 新しいクラブができました



### 第3回利用者満足度調査実施 アンケートにご協力をお願いいたします。

福寿園では、利用者の皆様から生の声を聞き、サービス向上のため生かしていこうと2年に1回、サービスに関するアンケートを法人内全事業所で実施いたしております。3月中に利用者の皆様にはアンケート用紙をお送りさせていただきますので、ぜひ率直なご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。また結果の概要につきましては集計がまとまり次第、本紙で公表をさせていただく予定です。

### 民老協 優秀賞受賞

QC発表会

渥美福寿園



2月13日に行われた、愛知県民間老人福祉施設大会に参加しました。「家族の面会を増やそう」というテーマでQC発表に臨んだ結果、優秀賞を受賞することができました。

### 田原福寿園 渥美福寿園 ご寄贈いただきました



▲藤田弥名子様より「かぼちゃ」の絵

豊橋善意銀行様を通して、古川昇史様より書を田原福寿園に、藤田弥名子様より絵画を渥美福寿園にご寄贈いただきました。施設内に飾り、楽しませていただきました。ありがとうございます。

### 交通安全表彰



田原福寿園では愛知県交通安全推進協議会様、田原警察署様より、交通安全表彰を受けました。今後もハンドルを握るときには心にゆとりを持って一層の交通安全に心掛け、徹底して事故防止を図って行きたいと思っております。ありがとうございました。

### 第6回施設対抗ボウリング大会開催

平成18年1月15日(日)、豊田市の美鳥里ボウルにおいて、今年で第6回目となる施設対抗のボウリング大会が開催されました。各施設から総勢130名が熱い戦いを繰り広げ大変盛り上がりました。またその後の表彰式では、ピュッフェ形式の食事を楽しみながら、各賞の発表には笑いが絶えず、職員全員いいリフレッシュができたので

はなないかと思いません。ちなみに優勝チームは、地元開催のみなみ福寿園で2回目の栄光となりました。やっぱりホムは強し？



### 厨房拡張工事



第一福寿園増築に伴い、現厨房の拡張工事を行っています。工事期間中、皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご協力のご程よろしくお願致します。

# 家族会 だより

## 豊田家族会

去る2月26日、雛祭り誕生会の行事に合わせて、家族会総会を開催致しました。お忙しい中多くの方の参加を頂き、平成17年度の行事報告、決算報告、そして平成18年度の行事計画と予算案が承認されました。夏祭りやフェスティバルはゆっくりと家族と触れ合うことができると、入所者の方々もとても楽しみにされている行事です。顧問の永田先生は皆さんの「楽しかった」「楽しみにしています」という声やうれしそうなお笑顔を元気を貰うと話されていました。

また、家族会の皆様には、行事以外にも奉仕活動として、毎月園内のシーツ交換も行って頂いています。

入所者に潤いのある生活を送って頂くために、新年度もご協力をよろしく願います。

〈18年度の行事計画〉  
6月 運動会

## みなみ家族会

8月 夏祭り  
9月 フェスティバル  
11月 文化祭  
2月 家族会総会、雛祭り



2月26日、家族会総会及び雛祭り誕生会を開催しました。当日は58家族96名の参加を頂き、平成18年度事業計画及び予算案等全会一致で承認され、その後全園で雛祭り誕生会を楽しみました。

平成18年度の家族会行事計画については次のように決まりました。皆様のご協力をよろしく願います。

5月 運動会  
(仮称) 若葉の集い  
8月 盆踊り大会  
10月 バーベキュー大会  
11月 みなみフェスタ  
2月 家族会総会

## ご案内

# ひとつ上の介護を 考える集い

～老いても幸せ 認知症ケアの実践～

- 内容**・午後1:00～  
和太鼓演奏  
福寿園和太鼓サークル「響」  
武豊太鼓教室「武鼓」
- ・午後1:40～  
武豊福寿園 実践活動発表  
「認知症ケアの取り組み」
- ・午後2:00～  
講演「“忘れてもしあわせ”と思える地域に」  
講師 小菅もと子氏

**とき** 平成18年3月26日(日)  
午後1:00～3:30

**ところ** 武豊町中央公民館(講堂)

**入場無料**  
～どなたでもご入場頂けます～

認知症の老親を抱える家族の戸惑いと葛藤、失われた絆の再生までを真摯に見つめた人間ドラマ、小菅もと子さん著作の介護手記「忘れても、しあわせ」。2001年に原作を映画化。「祈り梅」。



お問合せ先 武豊福寿園  
TEL.0569-72-8811

主催：社会福祉法人 福寿園  
後援：武豊町、武豊町社会福祉協議会、武豊町教育委員会、武豊福寿園家族会



### お年寄りのための かんたんレシピ vol.21

お年寄りにとって「食べる事」は、  
生活の中の一番の楽しみであり、健康の源です。  
このコーナーでは、お年寄りに好まれる食材を使った  
やわらかく食べやすい栄養満点のメニューを紹介합니다。

## じゃが芋餅のみたらし(4人分)



じゃが芋は、芋の中ではビタミンCが豊富で、加熱によるビタミンCの損失も少なく、お米のお餅よりも歯切れがよくて、安心して頂くことができます。歯が悪い方にも好評の一品です。

### 材料

- じゃが芋……………2個
- 白玉粉……………50g
- 水……………40ml
- バター……………10g
- しょうゆ……………大さじ2
- 砂糖……………大さじ1
- はちみつ……………小さじ1
- 水……………大さじ3
- 水溶き片栗粉……………小さじ2

### 作り方

- 1 じゃが芋はよく洗い、蒸して皮をむき、つぶす。
- 2 Aをこね、つぶしたじゃが芋と合わせ、平たい小判形にして沸騰した、たっぷりのお湯でゆでる。
- 3 フライパンにバターを溶かし、2を両面焼く。
- 4 鍋にBの材料を合わせて煮立て、水溶き片栗粉でとろみをつけタレを作る。
- 5 4のタレを焼いた物にかける。



作者：伏原美恵子

(職人・武部)

### 理事長賞

作者：河原万知子さん

(愛知県春日井市)



### 特別賞

「第2回福祉の絵手紙作品展」より、受賞作をご紹介します。



平成18年3月10日発行

発行／社会福祉法人 福寿園  
理事長／占田勝美

愛知県田原市六連町神ノ谷9-3 ☎0531-27-0008  
<http://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。



愛と感謝と奉仕